

第1学年国語科学習指導案

日時：平成24年9月28日（金）3校時

児童：男子7名 女子9名 計16名

授業者：岡本美華

1 単元名 おはなし きいて（光村図書 P100～101）

2 単元について

（1）教材について

第1学年及び第2学年の「A 話すこと・聞くこと」の目標は、「相手に応じ、身近なことなどについて、事柄の順序を考えながら話す能力、大事なことを落とさないように聞く能力、話題に沿って話し合う能力を身に付けさせるとともに、進んで話したり聞いたりしようとする態度を育てる。」である。

本単元は、「A 話すこと・聞くこと」の指導事項「ア 身近なことや経験したことなどから話題を決め、必要な事柄を思い出すこと。」「イ 相手に応じて、話す事柄を順序立て、丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて話すこと。」「エ 大事なことを落とさないようにしながら、興味をもって聞くこと。」に基づいて構成されており、「経験したことから題材を決めて話したり、聞いて感想を述べたりすること」が指導の中心である。話し手は、生活の中での経験を話題にして、聞き手である友達が分かってくれるかどうか、大事なことは何かを考えて順序を意識して話すこと、聞き手は、身近なことを話題にして話している気楽さを生かし、知りたいことをたずねることで、進んで話したり聞いたりしようとする態度を育てるために大切な単元であると考えられる。

（2）児童について

児童は、これまでに「わけをはなそう」で、身近な経験について話形に沿って「わけ」とともに話をする学習をしてきた。また、「こんないしをみつけたよ」では、自分が選んだ石を観察して情報を集め、二文程度の文章を順序立てて話したり、静かに友達の発表を聞いたりする学習をした。これらの学習や朝の会でのスピーチを通して、相手を意識して丁寧な言葉で話す力や友達の話にうなずいたり拍手をしたりして聞く力が育ってきている。

しかし、丁寧な言葉遣いで話す力は身に付いてきているものの、相手に分かりやすく伝えるために順序立てた話の内容を考える力や、友達の発表に対する思いをもって聞く力が十分でない児童も見られる。話すことが上手になってきている児童であるので、一方的に発表して拍手をもらっておしまいではなく、話したことに対して質問や感想を伝え合うことで、互いを理解し合える対話に近づけていきたい。

（3）指導にあたって

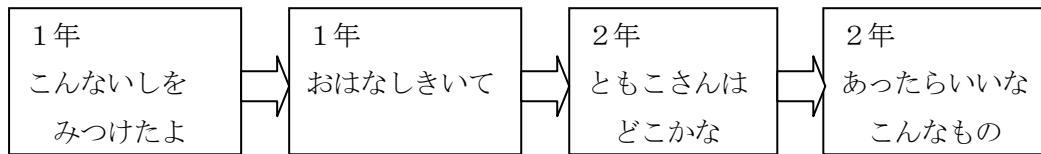
児童の実態を受け、指導にあたっては次の3点に留意して進めたい。

①単元の導入の段階では、教科書の挿絵を活用しながら、実際に教師が身近な話題から選んで話をすることによって、学習への興味・関心をもたせたい。

②話す内容を決めて練習をする段階では、話すときに必要な実物や写真、絵などを用意し、それをもとに話す内容を三文程度で一度文章化させて練習をすることで、話すことへの自信へとつなげたい。

③お話会の段階では、モデルにより、話し方、聞き方、質問や感想の伝え方を示し、具体的なイメージを持たせようとして学習活動に臨ませたい。

(4) 単元の関連と発展



3 単元の目標と評価規準

(1) 経験の中からみんなに話したいことを選び、話の順序を考えながら、丁寧な言葉を使って話すことができる。

(2) 話の大事なことを落とさないように興味をもって聞くことができる。

関心・意欲・態度	話すこと・聞くこと	言語事項
身近な経験について、みんなに知らせることに興味をもって取り組んでいる。	友達の方を向いて話している。 最後まで静かに聞き、質問や感想を伝えている。	丁寧な言葉「です」「ます」を使って話している。

4 単元の指導・評価計画（4時間扱い）

※「キャリア」の欄は「勤労観・職業観」「豊かな人間性」に関わる項目があれば記載

時間	目標	評価規準	関	話聞	言	キャリア
1	○教科書の挿絵と教師の話から、お話会を開くことを知り、宝物や見つけたことなど身近な経験から題材を選ぶことができる。	・みんなの前で話すことに興味をもち、身近な経験から話題を決めている。	○			
2	○話すことの内容を決め、話の流れを考えてノートに三文程度で書くことができる。 ○お話の練習ができる。	・話の順序を考えて、ノートに三文程度で書いている。 ・書いたことをもとに、伝わる話し方で話す練習をしている。		○		
3	○聞くときのマナーについて話し合うことができる。 ○質問や感想の伝え方を練習することができる。	・聞き手の立場になって聞き方を考えようとしている。 ・質問や感想の伝え方について理解している。	○	○		

4 本 時	○身近な経験について、友達の方を向いて三文程度話すことができる。 ○友達の発表を聞いて、質問をしたり感想を伝えたりすることができる。	・友達の方を向いて、丁寧な言葉遣いで三文程度話している。 ・話を聞いて、質問をしたり、簡単な感想を伝えたりすることができる。		○	○	豊
-------------	---	---	--	---	---	---

5 本時の指導

(1) 目標

○身近な経験について、友達の方を向いて三文程度話すとともに、友達の発表を聞いて、質問をしたり感想を伝えたりすることができる。【話・聞】【言語事項】

(2) 評価規準と手立て

	満足できる	「満足できる」に満たない児童への手立て
話・聞	身近な経験について三文程度で話すとともに、友達の発表について質問をしたり簡単な感想を伝えたりすることができる。	「満足できる」に満たない児童への手立て 教師とともに身近な経験について発表し、友達の発表に、うなずいたり、拍手をしたり反応しながら聞く。

(3) キャリアの視点

キャリアの力：◎総合生活力 ○豊かな人間性

「自分の考えをみんなの前で話す」

キャリアのねらい：身近な経験について、友達と伝え合う。

本時の指導では、身近な経験について、相手を意識して三文程度で分かりやすく話すとともに、友達の発表に質問をしたり感想を伝えたりする活動を通して、豊かな人間性を育むコミュニケーション能力を育てたい。

(4) 展開

段階	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点 キャリアとの関連 評価
導入 5分	1. 前時の学習をふり返る。 ○話すとき、聞くときに気をつけることは何でしたか。	・大きな声で最後まで話す。 ・順序よく話す。 ・相手の顔を見て聞く。 ・うなずきながら最後まで聞く。	・前時まで身に付けてきた話し方、聞き方を確認し、黒板に提示する。

	<p>2. 本時の学習内容を知り、学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">おはなしかいをしよう。</div> <p>3. お話会の練習をする。</p> <p>○ペアで、発表する練習をしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隣の友達と発表の練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・早く発表したいな。 ・みんなの前で話すのは、ドキドキするな。 ・☑わたしのたからものは、ぬいぐるみの〇〇です。どうしてかというとな…。 ・☑大切なものなんだなと思いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な経験について発表し合い、質問したり感想を伝えたりする活動であることを確かめる。 ・役割を交替しながら、話し手と聞き手の両方の立場で練習をする。
<p style="text-align: center;">展 開 35 分</p>	<p>○みんなでお友達の上手な発表を見ましょう。</p> <p>○もう一度ペアで練習してみましょう。</p> <p>4. グループごとにお話会をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お話会の進め方を知る。 <p>○グループごとにお話会を始めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き取りカードで自分の聞き方を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最後まで大きな声で話しているな。 ・質問や感想が言えているな。 ・上手に発表ができそうだな。 ・早くお話会がしたいな。 ・話を聞いたら、その後に質問や感想を話すのね。 ・順番カードの順に話せばいいんだな。 ・相手の顔を見て聞くことができた。 ・最後まで聞くことができた。 ・友達に質問や感想を伝えることができたな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・練習した中で、望ましいペアを取り上げ、モデルとして提示する。 <div style="border: 2px dotted black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>キャリアとの関連</p> <p>身近な経験について発表するとともに、その話題について質問したり感想を伝えたりして交流する。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【話・聞】【言語事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の方を向いて、丁寧な言葉遣いで発表することができる。 ・友達の発表に対して質問や感想を伝えることができる。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き取りカードは、話し手の評価よりも、自分の聞き方を振り返ることができるものにする。

<p>終 末 5 分</p>	<p>5. お話会のふり返りをする。 ○お話会をしての感想を教えてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・上手に発表できて嬉しかった。 ・友達の話を聞いて楽しかった。 ・聞いてもらえて嬉しかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「話してよかった。」「聞いて楽しかった。」と思えるような雰囲気を作る。 <p>キャリアとの関連 友達とコミュニケーションをとる楽しさを実感する。</p>
----------------------------	--	--	---

(5) 板書計画

○はなすひと
じゅんじょ
おおきなこえ
さいごまで

○きくひと
あいてのかおをみて
うなずきながら
おしまいで

おはなし きいて
おはなしかいをしよう。

○しつもん かんそう

だれか
らもら
います
たか。

おおきな
こえで
よかった
です。

すてきな
たからも
のだとお
もいまし
た。